

2023 年度 個人研究実績・成果報告書

2024 年 4 月 9 日

所属	国際教養学部	職名	教授	氏名	柏木 将宏
研究課題	情報基盤の構築・運用および先進的な利用環境の開発・実践				
研究キーワード	教育工学、情報リテラシー、ICT活用、メディア活用	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	4. 質の高い教育をみんなに	該当なし	該当なし	該当なし	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>これまで取り組んで来た、本学情報基盤の構築・運用における情報システム、情報セキュリティ、ユーザ支援などに関わる諸活動と共に、その下でのICTに関する先進的な教育・研究環境の開発とアクティブラーニングなどによる実践に関し広範に取り組んでいます。例として、情報導入教育の全学共通教材制作を行う「情報教材開発プロジェクト」の取り組みは17年目を迎え、『千葉商科大学「情報入門」 大学生のための新しい情報リテラシー2024』が刊行されました。情報基礎教育については、学生のPC必携化のための情報基盤環境および教室環境の整備拡充を進め、また現行及び新カリキュラムにおける基盤教育機構における教育内容の充実と実現に努めるべく活動を進めました。また、ICTとメディア活用に関しては、学内ネットワーク放送の定期的なコンテンツ制作及び放送の実践活動が再開されています。</p> <p>科学研究費補助金による研究活動の4年目は、引き続き本学の標準LMS環境で得た遠隔授業の実施やその効果に関するデータを収集、分析することによる学習行動の分析や、これまで蓄積した情報基礎教育における調査結果の俯瞰的な分析などにおいて進展がみられました。今年度も、二ヶ月に一度の研究会を定期的に開催しています。関連テーマとして、特に高等学校における「情報I」の教科書に関する調査を、本学の新たなカリキュラムにおける基盤教育機構基礎科目関連の視点も踏まえながら進めています。なお、いわゆるコロナ禍による研究計画の変更修正などから、本テーマの活動期間を更に一年間延長する申請しました。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等</p> <p>(できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)</p> <p>【論文 (査読あり)】</p> <p>【著書・論文 (査読なし)】</p> <p>情報の導入教育の全学共通教材として『千葉商科大学「情報入門」 大学生のための新しい情報リテラシー2024』(ワーキンググループ代表)の制作を行いました。</p> <p>【学会発表等】</p> <p>情報処理学会 第86回全国大会「実践とデータ分析を通じた次世代の情報基礎教育に関する考察」</p> <p>3. 主な経費</p> <p>ソフトウェアライセンス、PC周辺機器、音響関係機材、映像記録用機材周辺機器など、上記諸活動において必要となる汎用的な物品およびパーツ、消耗品の購入、書籍代、学会費など。</p>					

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

令和2（2020）年度の科学研究費補助金基盤研究（C）へ「情報基礎教育における実践を通じた理論獲得のモデルに関する研究」の研究課題名で代表者として応募申請を行い採択されています（20K03102、令和2年度～令和6年度、4,290千円）。

（本文は2ページ以内にまとめること）